

SOFITIC 賛助会員セミナー<第6回>

ソフトウェア関連発明の動向について

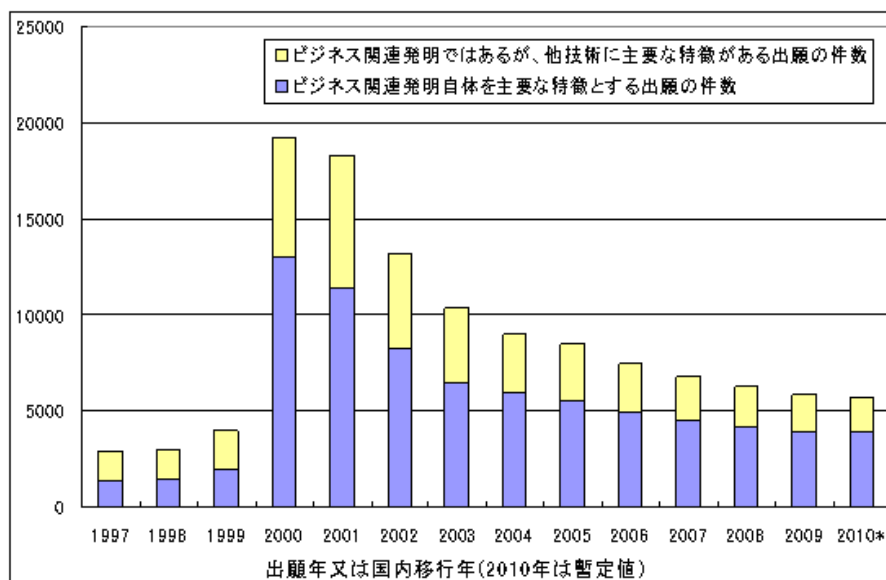
平成24年1月25日

相田 義明

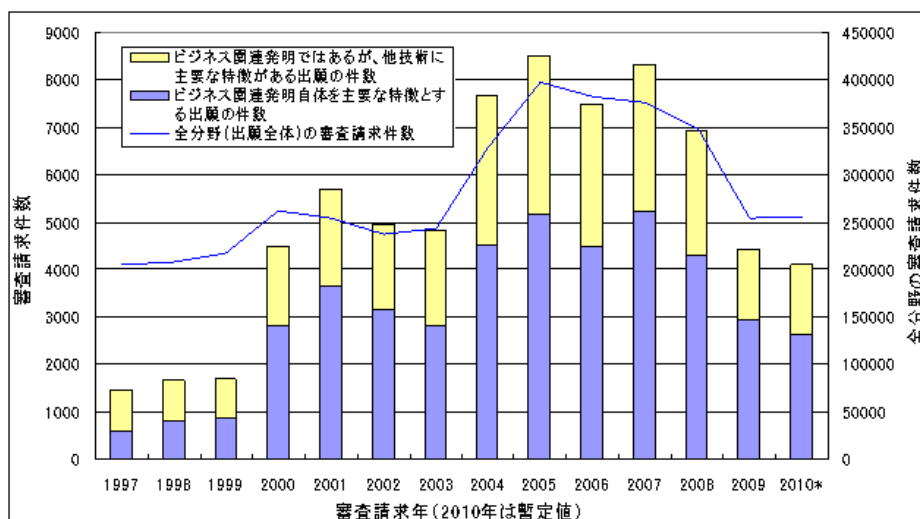
1 出願動向（ビジネス関連発明・特許庁ウェブページより）

（1）出願の推移

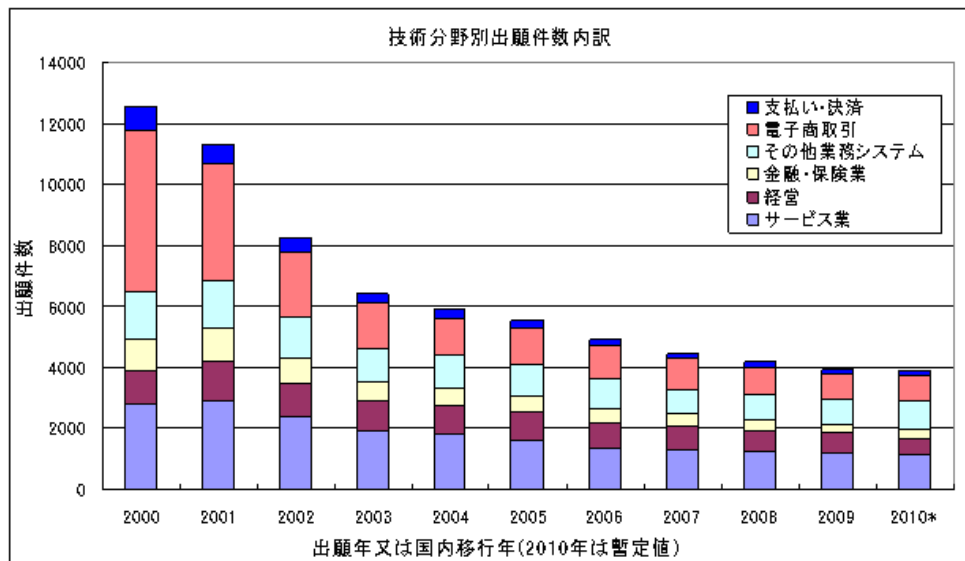
（国際特許分類：G06F15/20@G,N,R、G06F15/20,102、G06F15/21、G06F15/24ー
G06F15/30、G06F15/42、G06F17/60（2000年7月から）



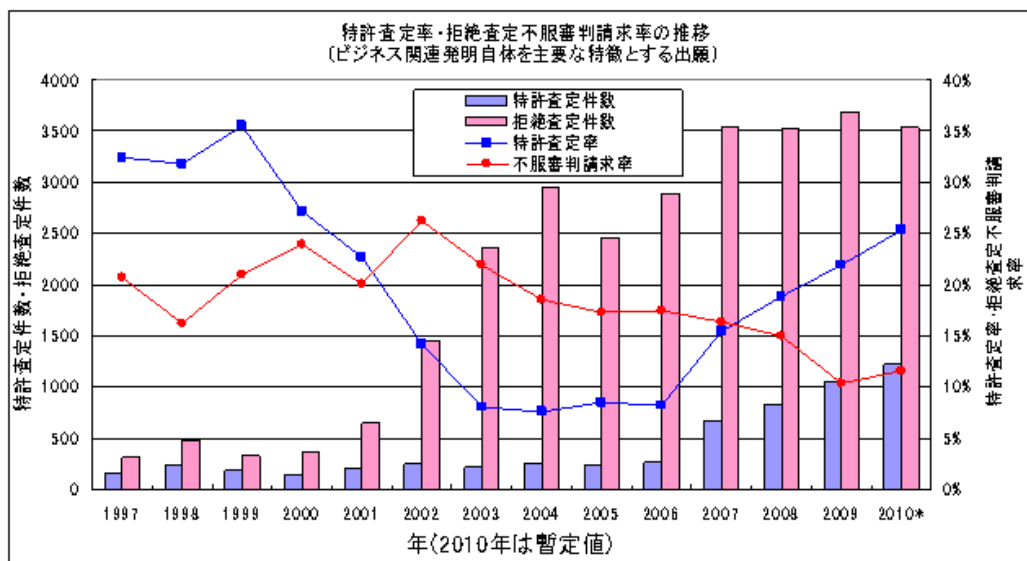
（2）審査請求件数の推移



(3) 技術分野別出願内訳



(4) 特許査定率・審判請求率の推移



2 ソフトウェア関連発明の事例

(1) 出願・特許例 (資料1 参照)

- ① 出願例
- ② 特許例

(2) どのようなものが特許対象となるのか (資料2 参照)

- ① 裁判例
- ② その他

3 権利取得過程での留意点

- (1) 明細書及び特許請求の範囲の記載
 - ① 明細書
 - ② 特許請求の範囲
- (2) 審査での対応
 - ① 最初の拒絶理由
 - ② 最後の拒絶理由
 - ③ 前置審査
- (3) 審判での対応
 - ① 前置審尋
 - ② 面接の活用
- (4) 審決取消訴訟
 - ① 審理の対象
 - ② 審理範囲
 - ③ 侵害訴訟における無効の抗弁との違い

4 権利取得後の攻撃・防御の留意点

- (1) 特許請求の範囲（クレーム）
- (2) 明細書の内容
- (3) クレーム解釈
- (4) 無効の抗弁
- (5) 訂正審判・無効審判

5 その他（欧米の状況など）

6 質疑